

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1501005

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B	
単位施策	3 消防・救急体制の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	消防資機材整備事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	15 消防支署	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	消防資機材整備数		#N/A	
事業目標	12資機材	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	消防資機材整備事業	空気呼吸器更新3基	消防ホース更新10本 軽量管鎗購入2個	3連梯子・救助用資機材購入 空気呼吸器予備ポンベ購入 新型インフルエンザ対策資機材一式	消防用ホース更新10本 救急資器材保守点検事業	火災用防火衣更新事業 救急資器材保守点検事業 救急資器材整備事業 デジタルカメラ一式購入事業	
	事業費(千円)	8,267	967	900	3,200	1,200	2,000
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	8,267	967	900	3,200	1,200	2,000	
実績事業費	事業費(千円)	7,276	967	888	2,689	1,040	1,692
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	7,276	967	888	2,689	1,040	1,692	
関連事項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) 空気呼吸器更新3基	(実施内容等) 消防ホース更新10本 軽量管鎗購入2個	(実施内容等) 3連梯子1基 救助用資機材一式 新型インフルエンザ対策資機材一式	(実施内容等) 消防用ホース更新10本 救急資器材保守点検事業	(実施内容等) 火災用防火衣更新事業 救急資器材保守点検事業 救急資器材整備事業 デジタルカメラ一式購入事業	
		※前年度評価結果	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	1資機材	2資機材	3資機材	2資機材	4資機材
		年度達成率	100%	99%	84%	87%	85%
	全体達成率	12%	22%	55%	68%	88%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名 消防資機材整備事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	高見 雄二
	評価者 作成者 職氏名	警防係長	佐藤 和幸

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	多様化する災害に向けた消防資機材の充実								
【抱える課題やニーズは】	現在の災害は、年々複雑かつ多様化してきており、これに対応するためには消防資機材の更新及び保守点検や新規購入を実施していく必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	現在消防で保有している消防用資機材は老朽化又は不足しているため、災害現場において活動に支障をきたすことが無いよう、より効果的な資機材の充実を目指した。	① 防火衣更新 救急資器材保守点検 救急資器材整備 デジタルカメラ一式購入	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>その他特記事項</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>その他特記事項</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	その他特記事項	実績値	その他特記事項	達成度	
目標年度	平成24年度										
目標値	その他特記事項										
実績値	その他特記事項										
達成度											
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	消防の任務は国民の生命、身体及び財産を災害や事故から守ることであるため、迅速かつ適切な消防活動ができるようにする。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> </tr> </table>	目標年度		目標値		実績値		達成度	
目標年度											
目標値											
実績値											
達成度											
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	<table border="1"> <tr> <td>選定会議</td> <td>職員間で資機材の選定会議を実施し、購入予定資機材の実演を行い、使い易さなどを確認する。</td> </tr> <tr> <td>消防資機材購入</td> <td>防火衣更新、救急資器材保守点検、救急資器材整備、デジタルカメラ一式購入</td> </tr> </table>	選定会議	職員間で資機材の選定会議を実施し、購入予定資機材の実演を行い、使い易さなどを確認する。	消防資機材購入	防火衣更新、救急資器材保守点検、救急資器材整備、デジタルカメラ一式購入						
選定会議	職員間で資機材の選定会議を実施し、購入予定資機材の実演を行い、使い易さなどを確認する。										
消防資機材購入	防火衣更新、救急資器材保守点検、救急資器材整備、デジタルカメラ一式購入										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	国が定める消防力の整備基準に従い、それに対応する消防資機材を常に確保(整備、点検)しておく必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	高度化する消火、救助及び救急活動に充分対応できる資機材を確保できた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	災害現場での活動が容易になる。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	消防資機材整備事業は、その資機材を使用して町民の生命、身体及び財産を災害や事故から守るための事業であることから公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

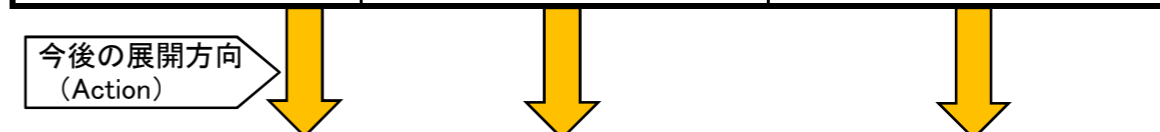
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

20年度 空気呼吸器購入 100%
21年度 軽量管鎗購入 100% 消防ホース購入 50%
22年度 空気呼吸器予備ポンペ購入 100% 三連梯子・救助資機材一式購入 100% 新型インフルエンザ対策用資機材購入 100%
23年度 救急資器材保守点検 50% 消防ホース購入 100%
24年度 防火衣更新 100% 救急資器材保守点検 50% 救急資器材整備 100% デジタルカメラ一式購入 100%

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り事業が進んでいる。		



今後の展開方向(Action)		
継続/現状維持		
この事業は、本町消防力の水準を高めるため適切に整備していく必要がある。		

※展開方向の区分  
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止